

【理事会報告】

◎支出計画の見直し

一般財団法人化に伴い、日本英文学会は、平成24～27年度の支出計画を作成し、監督官庁である内閣府に提出しておりましたが、平成24、25年度の実績に基づき、計画終了年度を平成28年度に変更した新支出計画を作成することになりました。平成26年度からは新計画に基づいた予算案を策定することになります。

◎第86回全国大会

第86回全国大会は、2014年5月24日(土)、25日(日)の両日、北海道大学札幌キャンパス(札幌市北区北17条西8丁目)において開催されます。多数の会員のご参加をお待ちしております。また開催校委員、開催支部委員の皆さまにはご負担をおかけいたしますが、よろしくようお願い申し上げます。

◎全国大会期間中における託児施設の利用について

開催校、開催支部のご尽力により、第86回全国大会期間中には、以下のとおり託児施設が開設され、英文学会会員の希望者専用にご利用いただけます。

日時：平成26年5月24日、25日
(両日とも8:45～17:15)

場所：北海道大学札幌キャンパス
高等教育推進機構E棟2階233室
大会会場内の演習室を臨時託児室とし、以下の託児専門業者に委託します。
壁や床は緩衝材で保護します。

委託託児業者：特定非営利活動法人
北海道子育て支援ワーカーズ

お問い合わせ、ならびにご利用のお申し込みは、

本部事務局にて受け付けております。詳しくは学会ホームページ掲載の「全国大会開催期間中の託児室開設規程」をご覧ください。締切は4月10日となっております。

◎海外在住の外国籍会員の支部所属について

所属支部決定の条件である、日本国内の居住地、勤務地、在学等学校等を有しない、海外在住の外国籍会員については、本部のみへの所属を認めることといたしました。

◎終身会員制度について

今年度より正式に始まり、すでに39名のお申し込みをいただいております。「終身会員規程」は学会ホームページ「情報公開」欄より閲覧できますのでご覧ください。お問い合わせ、ならびにお申し込みは本部事務局にて受け付けております。

◎事務局開室時間

2013年1月より、本部事務局事務室の開室時間は以下のとおりとなっております。

月曜日～木曜日、11時～16時

◎海外研究者招聘後援事業

2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しております。該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。応募する団体は、申請書類を電子メール添付にて本部事務局あてお送りください。なお同事業の応募規程ならびに採択された事業の概要ならびに企画申請書は、学会ホームページ「海外研究者招聘後援事業」欄で閲覧できます。

◎会員著書案内

本部事務局あてに会員から著書を献本いただいた場合、学会ホームページに著書紹介を、出版から2年のあいだ掲載することができるよ

うになっております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。また著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。著書に関する情報は、

1. 著書のタイトル、目次、出版社、出版年
 2. 著書の内容の梗概1200字程度
- です。会員の皆さま、著書を出された方は、どうぞふるってこの著書案内コーナーをご利用くださるようお願いいたします。1および2の著書情報は本部事務局までメールでお寄せください。すでに21冊(2014年1月時点)の会員による著書が、学会ホームページ「会員著書案内」欄で紹介されておりますので、ぜひご覧ください。

◎訃報

会長を務められた(1999～2000年)國重純二先生が2013年12月14日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

【2014年度シェイクスピア祭のお知らせ】

2014年度シェイクスピア祭を、日本英文学会・日本シェイクスピア協会共催にて、下記のとおり開催します。一般公開(事前予約不要)、入場無料です。ふるってご参加ください。

日時：2014年4月19日(土) 13:00～16:30
場所：学習院大学 西5号館B1講義室
(東京都豊島区目白1-5-1)

プログラム：

13:00～ ご挨拶

13:10～ 対談

「《四畳半》演劇で切り取るシェイクスピア」

安田雅弘氏

(演出家・劇団 山の手事情社主宰)

ゲストスピーカー：

浜名恵美氏(筑波大学)

聞き手：野田学氏(明治大学)

15:00～ 講演

「シェイクスピアの面白さ——超言語的

想像力、超言語的实践に注目すると——」
浜名恵美氏(筑波大学)

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎研究発表応募について

第86回大会の研究発表に応募された方々は、英文学31名、アメリカ文学10名、英語学11名、英語教育4名の総勢56名でした。前年度実績である50名(英文学31名、アメリカ文学9名、英語学8名、英語教育2名)から、若干の増加になります。ただし、数年前までは応募者総数が70名を超えていたことを考えますと、やや寂しい数字とも言えますので、次回大会には、さまざまな領域のたくさんの会員の方々からご応募いただけますことを、期待しております。

なお、過去においては、発表当日にタイトルを変更して発表された方や、発表要旨の校正段階で大幅な修正を試みられる方がいらっしゃいました。大会準備委員会では、タイトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づいて審査・銓衡を行っております。大会準備委員会より依頼・要請した場合を除き、応募後のタイトルの変更や、発表要旨の内容の変更はご遠慮いただいております。次回大会応募の際には、この点をどうぞご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

◎招待発表制度

第86回大会では、前回大会と同じく、大会準備委員会が過去の実績等を審査して選んだ招待発表講師8名にも発表をしていただきます。この制度が大会の活性化につながることを願っております。

◎ハンドアウトのホームページ掲載

学会ホームページ(<http://www.elsj.org>)に、シンポジウムや研究発表の発表者からお送りいただいたハンドアウトを掲載いたします。掲載を希望する発表者は、ハンドアウトのファイルを大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。充実した大会にするために、大会発表者のご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎紀要等展示室

第86回大会においても「紀要等展示室」を一般会員控室(E棟2階215室)に併設いたします。目的は、会員の皆さまが紀要等を交換する場を設け、会員間の交流の機会を確保することにあります。展示可能なものは、ご自分の論文の掲載された紀要、学会機関誌、雑誌等、またはその抜き刷り、および書籍などです。会員の皆さまの積極的な参加を歓迎いたします。展示ご希望の方は、当日、展示物をご準備のうえ、展示室に用意された机に、ご自分で展示ください。展示物の搬入、展示、回収は、すべてご自分の責任においてお願いいたします。展示物の紛失等に関して、大会準備委員会、学会事務局および開催校は、いっさい責任を負えません。なお、開催校への送付は、保管等の責任を負いかねますのでどうかご遠慮ください。

◎特別研究発表者候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に関するご提案を、以下の要領で公募しております。ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで、以下の所定の書類をお送りください。

(特別研究発表の(募集)要領)

- (1) 発表時間は1時間
 - (2) 資格は、海外の大学等で専任の職を持っていること
 - (3) 謝礼は2万円(ただし、税金を抜けば1万6千円)。その他国内に限った交通費(要領収書)
 - (4) 司会は原則として紹介者が行う
- (応募の必要書類)
- (1) 候補者の略歴、主要業績リスト
 - (2) 発表題目および内容

採否の決定は、大会準備委員会まで9月末日までに行い、決定次第ご提案者にご連絡さしあげます。

◎第87回大会ワークショップの応募開始

2013年9月発行のニューズレター(No. 122)でもお伝えしたように、2014年の第86回大会

よりワークショップが導入され、現在、第87回大会ワークショップの応募を開始しております。

ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は当面、大会2日目午後の特別講演/シンポジウムの時間帯(2時間半程度)を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会で選考いたします。

第87回大会分の応募締切は、2014年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ホームページ(<http://www.elsj.org>)に掲載されている応募要領を良くお読みのうえ、同ホームページよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。

ワークショップはまだ新しい試みですので、より良いかたちを柔軟に模索しながら継続していきたいと考えています。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

【編集委員会からのお知らせ】

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各一冊という刊行形態となっており、和文号、英文号それぞれに投稿の締切が設定されております。昨年9月の英文号の締切までには、25本の英文論文が寄せられ、うち6本が採用されました。本年4月1日投稿締切の和文号にも、多数の投稿があることを願っております。なお前回のニューズレターで告知いたしましたように、昨年10月19日付で、論文の分量制限に関わる規定が変更されております。投稿される方は、学会ホームページ(<http://www.elsj.org/>)、あるいは『英文学研究』第90巻(和文号)をご確認ください。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。昨年9月締切の英文号では秦邦生氏(津田塾大学准教授)の‘The Politics of Antimodernism: Realism, Modernism, and the Problem of the Welfare State in Kingsley Amis’s

Lucky Jim'が選ばれました。秦氏には賞金5万円が授与されます。

◎第37回新人賞論文募集

4月30日締切で、第37回新人賞論文を募集しています。第34回より佳作にも賞金5万円が授与されるようになりました。斬新なアイデアをお持ちの若手研究者の方々にはふるってご応募いただければ幸いです。若々しく野心的な論考を期待しております。なお昨年一般論文の投稿規程が変更されたことに伴い、新人賞論文の分量制限も変更されております。応募される方は、上記学会ホームページ、あるいは『英文学研究』第90巻(和文号)で応募要領をご確認ください。

◎委員の交代

3月末日をもって井出新、大久保讓、中山徹、西出良郎、辻本庸子、鷺津浩子、江連和章、田中拓郎の各氏が任期満了によりご退任となります。長い間ありがとうございました。

任期満了でご退任される委員の後任には、佐々木和貴(秋田大学)、末廣幹(専修大学)、川端康雄(日本女子大学)、木下誠(成城大学)、越智博美(一橋大学)、西山けい子(関西学院大学)、今仁生美(名古屋学院大学)、大室剛志(名古屋大学)の8氏が選ばれました。任期は4月1日からの3年です。どうぞよろしく願いいたします。

◎顧問制度の刷新

顧問制度の刷新に伴い、加藤光也(駒澤大学)、丹治愛(法政大学)、中尾佳行(広島大学)、原英一(東京女子大学)、後藤和彦(立教大学)、林文代(東京大学[誉])、原成吉(獨協大学)、福岡和子(京都大学[誉])、鳥村礼子(津田塾大学)の各氏が編集委員会顧問に新たに就任されます(なお、英語学分野からもう一人の顧問が就任の予定です)。任期は4月1日からの5年です。必要に応じて投稿論文の査読を担当していただくこととなります。どうぞよろしく願いいたします。

【本部事務局からのお願い・ご報告】

◎会費納入と刊行物発送について

会費(一般会員8,000円、学生会員5,000円、協賛会員10,000円)を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。2年度分の会費の納入がなかった場合、翌年3月末をもって除名となり、未納分は債務として請求されますのでご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、事務局までご確認ください。重複して会費が支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、郵便局(ゆうちょ銀行)に口座を開設する必要がありますが、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。手続きは、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけです。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。メールや電話でご連絡をいただければ、速やかに自動払込み停止の手続きをいたします。まだ利用されていない皆さまは、ぜひともご検討ください。

◎全国大会の受付業務について

全国大会当日の受付業務は、以下の時間と内容となります。なお、2008年度より、会費納入の取り扱いを廃止しております。さまざまなトラブルを未然に防ぎ、会員の皆さまに大会プログラムに専念していただくための方策ですので、ご理解のほどをお願い申し上げます。

※受付時間：5月24日(土) 12:00～16:00

5月25日(日) 9:30～11:30

1) 当日会員の受付

非会員の方々でも、当日会員費1,000円をお支払いいただければ、『大会資料』を受け取り、すべてのプログラムに参加できます(ただし、懇親会は、正規会員を優先したうえで、余裕がある場合に限り参加可能です)。なお、後日、一般会員もしくは学生会員とし

て正規にご入会いただく場合には、当日会費の領収書がある旨を、領収番号とともに入会申込書にご記入いただければ、当該年度会費から支払い済みの1,000円を差し引かせていただきます。

2) 郵便局自動払込み領収書の発行

郵便局自動払込みに登録されている方には、受付にて領収書をお渡しする準備をしております。領収書の発行をご希望の場合には、郵送費の経費削減のためにも、ぜひ受付にお立ち寄りください。

3) 変更届の受付

ご住所やご所属等に変更がある場合は、変更届をご提出ください。

4) 出張証明書の発行

ご所属の大学で公費出張をなさる場合の出張証明書を発行いたします。ご入用の方は受付にてお申し付けください。

◎全国大会懇親会の予約方法について

前回のニューズレター(2013年9月)でもお知らせいたしましたとおり、第86回全国大会より、懇親会の予約を学会ホームページからの受付に統一いたします。詳しくは、本大会資料掲載の「第86回大会懇親会のご案内」をご覧ください。

◎入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ホームページにて詳しくお知らせしておりますが、あらためて下記にご案内いたします。

《新規入会の手続き》

新規にご入会いただく場合には、本部事務局へご連絡ください。(1)ウェブ入会フォームの利用、(2)電子メールによるお申し込み、(3)ファックスや郵送によるお申し込みの3つの方法があります。

- 1) ウェブ入会フォーム：学会ホームページ上のウェブ入会フォームのページから、必要事項を記入のうえ、お申し込み内容を送信してください。
- 2) 電子メールによるお申し込み：学会ホームページ上の電子メールによる入会申し

込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。

- 3) ファックスや郵送によるお申し込み：学会ホームページ上のファックスや郵送による入会申し込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。

お申し込み内容に応じて、事務局より、郵便振替用紙もしくは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指定いただいた住所に送付されます。郵便振替用紙をお送りした場合は、会費をお振り込みいただいた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りした場合には、これを事務局あてにご返送いただいた到着日をもって入会として扱います。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

《退会届》

会員は、退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うこととなります。逆にいえば、会費を納めなくても2年間は会員扱いになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。2年間にわたって会費の滞納を続け、退会となった場合、未納分の会費は会員側の債務となり、その債務分を請求させていただくこととなります。退会のご意思をお持ちの場合には、速やかに、ウェブ連絡フォームやメール等で事務局までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみを退会することはできません。詳細は学会ホームページ「退会の届け出」欄で閲覧することができます。

◎学生会員の皆さまへ

学生会員の皆さまには事務局から以下の2点をお願いしております。

- 1) 毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2) 郵便局自動払込みの申し込みをすること

すでに学生会員となっており、引き続き2014年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに、2014年度有効の学生証の写しを、メール添付PDFファイル、あるいはファックスにて、本部事務局あてお送りください。確認のうえ、2014年5月中旬に学生会員としての年会費を引き落とします(郵便貯金残高をご確認ください)。なお、上記2つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するなどの措置をとらせていただくことになりますので、ご注意ください。

また、身分に何らかの変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などには、事務局までその旨ご一報ください。

◎各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎夏休み中の事務連絡について

本部事務局は、7月28日より8月31日まで基本的に夏休みとさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、郵便、ファックス、電子メールにて受け付けておりますが、ご回答までに日数がかかることもあります。予めご了承ください。

◎次回のニューズレターについて

次回のニューズレターは、2014年9月中旬刊行予定の『支部大会資料統合版』の巻末に掲載される予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時、学会ホームページにて告知いたします。

◎次期事務局構成

2014年度本部事務局は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了後の5月末までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務に当たります。6月1日以降は、全面的に新事務局に移行します。

事務局 長	松本靖彦(東京理科大学)異動
事務局 長 補 佐	金澤 哲(京都府立大学)
会計担当 補 佐	小宮彩加(明治大学)
編集担当 書記	合田典世(横浜国立大学)
大会準備 書記	樺山弘盛(立正大学)
学会ウェブ担当	山本洋平(戸板女子短期大学)留任

新事務局は佐々木会長のもと、英文学会が会員の皆さまの優れた研究・教育の成果を発表することのできる場であり続けるため努めてまいります。今後とも、会員の皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。なお、現事務局にこれまで賜りました多大なるご支援にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

日本英文学会事務局

廣田篤彦・松本靖彦・北川依子・
田中裕介・瀬名波栄潤・山本洋平